

看護学科4年生 特別講義

看護学科では、教科「在宅看護論」の中で、地域で生活している病気や障害をもつ方およびその家族に対する看護を学習します。

本日の4年生の在宅看護方法論Ⅰは、4名の講師をお招きした特別講義でした。

日時：令和5年 9月27日(水) 13:30～15:00

講師：NPO法人学びあい 理事長 羽野 等 様

NPO法人学びあい メンバー 刀根 実幸 様、河津 真由美 様

作業療法士 國政 和子 様

目標：

- ①在宅で療養生活を送る療養者および家族の思いを知る
- ②療養生活におけるニーズを知る
- ③生活に関わる社会資源を知る

担当教員による講師の紹介後、國政さんにファシリテーターとして、本日の特別講義を進行していただきました。

まずは、羽野さん・刀根さん・河津さんが、自宅の写真を使って、普段どの様な生活をしているのか、社会資源は何を使っているか等、具体的にお話ししていただきました。





今まで、「対象者の自己決定を支援する」ということを学習してきました。本日の講義では、療養者自身も「自己決定」について話されましたが、さらに、自己決定したことには、「自己責任」が伴うと言われたことが印象に残りました。